

■「中部横断自動車道八ヶ岳南麓新ルート沿線住民の会」からの文書

(平成25年6月21日)

団024-1

清里のアンケート結果

このアンケートは県の高速道路推進室より清里地区の住民の意見を聞くために行われたアンケートです。

アンケートの配布は新聞折り込みで清里地区に配られ、結果の発表も新聞折り込みで清里地区のみ配布されました。

結果は見ての通りの、**道路建設に反対の意見が大多数です。**

回答152件に対して反対134件清里の人は高速道路はいらないと回答しています。

過去に国土交通省もアンケート2回も行った結果も、**北杜市の人は87%が高速道路はいらないと回答しています。**

この道は誰のために造るのですか？

団024-2

中部横断自動車道アンケート

中部横断自動車道「長坂～八千穂」間の国土交通省による地元説明会がこの冬行われ、振興会でも現段階での理解を深めるための説明会を実施しました。第三者委員会の審議を経て次の段階へ移行するにあたり、この度、県の高速道路推進室から具体的なルート設定の参考とするため、地元住民の意見を聞きたいとの要望がありました。皆様もご存知のとおり、ここ清里を通過する際のルート案がA案B案（図を参照）の二通りあり、私たちの生活にも直接的な影響を及ぼす重要な選択を迫られることとなります。自然環境の保護、地域生活の向上、観光地としての発展・など、様々な観点からご意見もあるかと思えます。振興会では、現在のところ振興会としてのまとまった要望や意見を提出することを避け、現在の振興会員の生の声をそのまま伝えることで、大きな選択に迫られた地元の困惑を共にそのまま伝えようと考えます。「自分は知らなかった。」「そんなはずではなかった・・・。」とならないためにも、この地に暮らす私たちが当事者意識を持つことが大切であると思います。

下のアンケートにはまずご自身の選択に○をしていただき、その理由を以下にお書きください。アンケートは無記名で結構です。忌憚ないご意見をお送りください。



いずれかを○で囲んで下さい

・ A 案に賛成 ・ B 案に賛成 ・ どちらとも言えない ・ 建設に反対

その理由

ご意見

上のアンケートに記入されましたら、5月31日までFAX(48-2179)にて駅前総合観光案内所あおぞらまでお送り下さい。直接お持ちいただいても結構です。

■「中部横断自動車道八ヶ岳南麓新ルート沿線住民の会」からの文書

(平成25年6月21日)

中部横断自動車道 アンケート結果

団024-3

各戸のアンケートを郵送で実施しました。結果は中部横断自動車道：ルートに多くの賛成、反対もありました。回答数は152で以下のような結果となりました。この結果を踏まえて、臨機応変に対応できるように住民との十分な対話の必要性を認識しているものと受け取ります。この内容はあくまで、参考としてご利用ください。詳細については、各自治体と協議することとなります。

	回答数	主な理由、意見
A案に賛成	4	・直接清里に通すことは景観を損ねる。須玉ICに繋いでほしい。 ・待ち望んでいた道路だから。作ってくれる時に建設してもらわないと後悔する。 ・清里に高速道路は反対。既存店がダメになってしまう。
B案に賛成	7	・アクセスが良い。・清里にインターを作りたい。 ・生活圏の拡大による地域の活性化や救急医療の充実に寄与する。 ・141号とのつながりが良い。・野辺山までつながるなら仕方ない。 ・早期着工してほしい。・新直轄方式で作って欲しい。
どちらとも言えない	7	・メリット、デメリットそれぞれあると思う。騒音、環境に配慮してほしい。 ・A案もB案も八ヶ岳の価値を損ねる。他のルートを計画してほしい。
建設に反対	134	・絶対反対。・地域を分断する高速道路は反対。 ・税金の無駄使い。・将来に借金を残さないでほしい。 ・少子高齢化が進むうえに維持費がかかる。 ・30年前の計画、今はナンセンス。 ・観光客が通過してしまう。・イメージを損ねる。 ・住民の話を聞いてないから。 ・地域の商店が繁栄してきたものが衰えたりすることで無駄になってしまう。 ・八ヶ岳南麓の景観を守りたい。・自然を大切にしたい。環境が悪くなる。 ・自然が破壊される。・日本風景街道に入っている景観を壊すな。 ・道路はこれ以上必要ない。・141号の改修で良い。既存の道路で十分。 ・建設予定地に家がある。・私の近くにできるから。 ・ルートが悪い。・双葉JCTにつながってほしい。 ・同業とも長坂JCTだから。 ・野辺山まで来れば十分。

標高日本一のさくらんぼ狩りをお楽しみ下さい！

・・・岩原果樹園
<http://www.sskuranbogatari.jp/>



標高の高い岩原果樹園では本州で一番遅く、海のほうまで楽しめます。太陽に照らされながら空気のなかで、はくくりさくらんぼ狩りを楽しまして下さい。今年のさくらんぼ狩り期間は6月中旬～7月25日頃の予定です。
★入園料★40分乗車券
小学生以上～12000円(税込) 未就学児以下～10000円(税込)
※さくらんぼ狩りは完全予約制です。ホームページの予約状況をご確認の上、予約フォームよりお申し込み下さい。ご利用日間の料金は、必ず電話(0561-46-2057)にてご連絡下さい。



貸別荘 桜わけ



カントリーハウス ランプライト

清見高原
オープンガーデン巡り
2013



ホテル オールドエイジ



カントリーインファーストトレイン

5月16日市役所〇〇氏との会話

団024-4

沿線住民の会副代表

やどーも、長らくご無沙汰してます、どーも。

市役所〇〇氏

こちらこそ。

沿線住民の会副代表

この前、新聞見て驚いちゃったんだけど、なんか市長がB案がいいなんて事をなんか国土交通省に対して要望したっていうような...

市役所〇〇氏

要望というか提言ですよ。

沿線住民の会副代表

要望って書いてあったよ、要望したって書いてあったよ、要望書でねっ提言したって言うもんない。それで、あれはいったい誰と相談して提言しちゃったのかね、ちょっとその辺をお聞きしたいんだわ、市役所〇〇氏さんに。

市役所〇〇氏

はい、基本的にですね、一応うちの市の方の考え方というのは、まー推進と言う.. 事です、というなかで...

沿線住民の会副代表

分かってます、分かってます、分かってます。

市役所〇〇氏

はい、今まで国のほうの説明会とかそういう風なものがおんだされてきたなかで間があいてるという状況もございます、その情報等についてまーちょっと確認する意味もあいの確認もしながらですね、情報もうちの方にも入ってないところもありますので、そういう形のなかでこちらの方の考えをお伝えするという形の中での内容となっています。

■「中部横断自動車道八ヶ岳南麓新ルート沿線住民の会」からの文書

(平成25年6月21日)

団024-5

す。そういう意味でこないだの5月1日ですかね、の日にまー市長のほうで国のほうに足を運びまして、一応その状況の確認と早期整備についてをお願いという形になってます。

沿線住民の会副代表

それでなんでB案って出て来ちゃったの？

市役所〇〇氏

基本的に国のほうで示された中のルート案のなかで出されたなかで一応うちの方の考えとしても過去の様々な今までのなんかございますねー、アクセス性とか防災とかそういう形の中で一番示された中で、望ましい姿というかたちのなかでB案なんです。

沿線住民の会副代表

それは望ましいというふうに考えたのは、市の中のどういう人達でその望ましいと思った訳？

市役所〇〇氏

あの一、市全体ですね

沿線住民の会副代表

あちゃーちゃー、市全体という事になると、そーすると市議会議員にもはかった？

市役所〇〇氏

当然今の段階では、市長の考え方としてのものとして出されてます。

沿線住民の会副代表

ほんならはつきり言って、市長一存で出しちゃったんでしょ？

市役所〇〇氏

一存でいうか..

沿線住民の会副代表

市全体でって言うけれども..

団024-6

市役所〇〇氏

執行部ていうか事務方の整理も含めた市の考えになります

沿線住民の会副代表

要するに市としての考えというのは市役所としての考えだね。

市役所〇〇氏

そうですね、まだ議会には到達する段階のやつははかって無い。

沿線住民の会副代表

そうだね、そうだね、要するに市役所の中での話としてB案がいいと、それで間違え無いですね。

市役所〇〇氏

はい。

沿線住民の会副代表

だから市議会にもはかってないし、市民から意見を聞いた訳でもないし、住民投票をやった訳でもないし、アンケートをやった訳でもないんですよ。

市役所〇〇氏

当然今までの考えの中の積み重ねの中で、今示された国から示された中の...

沿線住民の会副代表

だから上から言われたA案B案ていうのを市役所の中で考えてこれが適切だと思ってB案というふうに提言しちゃったと。

市役所〇〇氏

望ましいとお伝えしたと。

■「中部横断自動車道八ヶ岳南麓新ルート沿線住民の会」からの文書

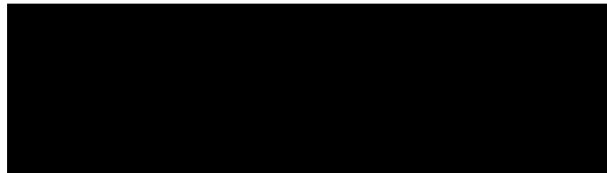
(平成25年6月21日)

団025-1

ワーキンググループの皆様へ

平成25年6月21日

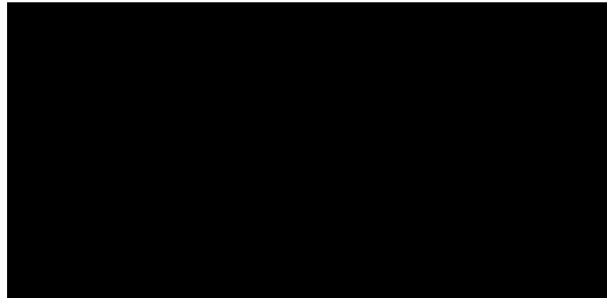
白倉政司北杜市長が独断でB案提言をしたことで、WGが動き出すという噂がささやかれています。今回、私たちがお送りする書類を吟味していただきたく思います。



資料2、山梨県の高速道路推進室からの要望で行われた清里でのアンケート用紙と、アンケート結果集計表

資料3、国土交通省甲府河川事務所 宮坂広志様の書いた文

(この文に書いてある通りにWGに伝わるか、隠されないかが心配なので添付しておきます。隠されたなら情報は隠されていることとなります。)



・このままのルートでは市民、国民は納得するであろうか。
利権が有り。このルートのままでは不正をしていると市民国民に判断されます。

団025-2

資料2、の問題点

- ・ 県の高速道路推進室が要望して北杜市民全体の意見ではなく、清里地区だけの一部の市民に対してアンケートして回答させたこと。不公平感が強い。
- ・ 今の流れは市、県、国の行政機関が建設に邁進している中、行政関係者以外の市民の答えは建設反対であること。民意は無視されるのか。(国の2回のアンケートも北杜市民は反対が多い)
- ・ WGは行政の味方で民意である建設反対を無視するのか。

など二つの資料が現在のルートの大きな問題点を提示しています。



これを裏付ける様に、長坂にジャンクションが決まった経緯に関する議事録が今も沿線住民の会の要請を無視して出されていません。

6月21日に甲府河川の宮坂課長に提出されない理由を聞いたら、「探しています」と、私が住民説明会から何ヶ月たちますか？紛失したのですか？と聞くと宮坂課長は顔を赤くして探していますと繰り返すだけでした。(録音有)
このことから、よほど不都合な真実が隠されていると思います。長坂で有る必要は利権だけということでしょうか？

そこで考えていただきたいのです。

この道は誰のために造るのですか、市民？県民？国民？白倉市長さんと建設関係者に金をばらまくためですか？

採算性がまだ計算されてない道(住民説明会で発言有)に建設費約2000億円。方や高速道路無料化先送り道路の維持費の不足。

国の借金1000兆円・・・国の税収何年分ですか？国民の血税は、ばらまきの為に存在しているではありません。

国道141の改良で良いと考えます。国道の有効利用をお願いいたします。

今のルート案は利権優先のそしりを国民から受ける建設構想です。

報道機関にも情報を提供していく
考えです。

中部横断自動車道八ヶ岳南麓新ルート沿線住民の会
副代表

■「中部横断自動車道八ヶ岳南麓新ルート沿線住民の会」からの文書

(平成25年6月21日)

資料2、

清里のアンケート結果

このアンケートは県の高速道路推進室より清里地区の住民の意見を聞くために
行われたアンケートです。

アンケートの配布は新聞折り込みで清里地区に配られ、結果の発表も新聞折り
込みで清里地区のみ配布されました。

結果は見ての通りの、**道路建設に反対の意見が大多数**です。

回答152件に対して反対134件清里の人は高速道路はいらないと回答して
います。

過去に国土交通省もアンケート2回も行った結果も、北杜市の人は87%が高
速道路はいらないと回答しています。

この道は誰のために造るのですか？

国025-3

中部横断自動車道アンケート

国025-4

中部横断自動車道「長坂～八千穂」間の国土交通省による地元説明会がこの冬行われ、振興会でも現段階での理解を深めるための説明会を実施しました。第三者委員会の審議を経て次の段階へ移行するにあたり、この度、県の高速度道路推進室から具体的なルート設定の参考とするため、地元住民の意見を聞きたいとの要望がありました。皆様もご存知のとおり、ここ清里を通過する際のルート案がA案B案(図を参照)の二通りあり、私たちの生活にも直接的な影響を及ぼす重要な選択を迫られることとなります。自然環境の保護、地域生活の向上、観光地としての発展・など、様々な観点からご意見もあるかと思いますが。振興会では、現在のところ振興会としてのまとまった要望や意見を提出することを避け、現在の振興会員の生の声をそのまま伝えることで、大きな選択に迫られた地元の困惑を共にそのまま伝えようと考えます。「自分は知らなかった。」「そんなはずではなかった・・・。」とならないためにも、この地に暮らす私たちが当事者意識を持つことが大切であると思います。

下のアンケートにはまずご自身の選択に○をしていただき、その理由を以下にお書きください。アンケートは無記名で結構です。忌憚ないご意見をお送りください。



いずれかを○で囲んで下さい

・ A 案に賛成 ・ B 案に賛成 ・ どちらとも言えない ・ 建設に反対

その理由

ご意見

上のアンケートに記入されましたら、5月31日までFAX(48-2179)にて駅前総合観光案内所
あおそらまでお送り下さい。直接お持ちいただいても結構です。

■「中部横断自動車道八ヶ岳南麓新ルート沿線住民の会」からの文書

(平成25年6月21日)

団025-5

中部横断自動車道 アンケート結果

先月の振興会ニュースで実施しました中部横断自動車道アンケートに多くの皆様からご回答をいただきました。回答総数は152で以下のような結果となりました。この結果を踏まえて、国は次の段階に進むに際して住民との十分な対話の必要性を理解していただけるものと思います。この内容はそのまま、要望された県の高速道路推進室および県知事、北杜市長に送ることにいたします。

	回答数	主な理由、意見
A案に賛成	4	・直接清里に通すことは景観を損ねる。須玉ICに繋いでほしい。 ・待ち望んでた道路だから。作ってくれる時に建設してもらわないと後悔する。 ・清里に高速道路は反対。既存店がダメになってしまう。
B案に賛成	7	・アクセスが良い。・清里にインターを作って欲しい。 ・生活圏の拡大による地域の活性化や救急医療の充実に寄与する。 ・141号とのつながりが良い。・野辺山までつながるなら仕方ない。 ・早期着工してほしい。・新直轄方式で作って欲しい。
どちらとも言えない	7	・メリット、デメリットそれぞれあると思う。騒音、環境に配慮してほしい。 ・A案もB案も八ヶ岳の価値を損ねる。他のルートを計画してほしい。
建設に反対	134	・絶対反対。・地域を分断する高速道路は反対。 ・税金の無駄使い。・将来に借金を残さないでほしい。 ・少子高齢化が進むうえに維持費がかかる。 ・30年前の計画。今はナンセンス。 ・観光客が通過してしまう。・イメージを損ねる。 ・住民の話を聞いてないから。 ・地域の商店が繁きあげてきたものが素通りされることで無駄になってしまう。 ・八ヶ岳南麓の景観を守りたい。・自然を大切にしたい。環境が悪くなる。 ・自然が破壊される。・日本風景街道に入っている景観を壊すな。 ・道路はこれ以上必要ない。・141号の改修で良い。既存の道路で十分。 ・建設予定地に家がある。・私の近くにできるから。 ・ルートが悪い。・双葉JCTにつながってほしい。 ・両案とも長坂JCTだから。 ・野辺山まで来れば十分。

標高日本一のさくらんぼ狩りをお楽しみ下さい！

・・・岩原果樹園

<http://www.sakuranbogari.jp/>



標高の高い岩原果樹園では本州で一番遅く、海の日頃まで楽しめます。太陽に最も近く澄んだ空気の中で、ゆっくりさくらんぼ狩りを楽しんで下さい。今年のさくらんぼ狩り期間は6月中旬～7月25日頃の予定です。

★入園料★40分食後放題

小学生以上～:2000円(税込) / 未就学児以下～:1000円(税込)

※さくらんぼ狩りは完全予約制です。ホームページの予約状況をご確認の上、予約フォームよりお申し込み下さい。ご利用日直近の際は、必ずお電話(0551-46-2067)にてご連絡下さい。

清里高原
オープンガーデン巡り
2013



寛別荘 野わけ
TEL.0551-48-3308



カントリーハウス ランプライト
TEL.0551-48-3071



ホテル オールドエイジ
TEL.0551-48-2341



カントリーインファーストトレイン
TEL.0551-48-2598

団025-6

資料3、

平成25年 6月21日

中部横断自動車道八ヶ岳南麓新ルート沿線住民の会

大)

の登記記録の写し及び土地の公図の

写しをお預りしました

2. 5月16日 午後所 〇〇氏との会談

白倉政司市長のB案提言の真相

住民不在のB案提言

甲府河川国道事務所

宮坂 宏志

上記資料は、WGIに報告いたします

■「中部横断自動車道八ヶ岳南麓新ルート沿線住民の会」からの要望

(平成25年6月25日)

団026-1

ワーキンググループの皆様への要望

今回集計が遅れたのは、住民説明会で市民に答えた国土交通省を信じ、国土交通省が自ら意見を取りまとめ、市民に賛成、反対など、どのような意見が多く存在したかなど分析・発表し、ワーキンググループに報告するのを期待したからにほかなりません。

しかしながら、いまだに住民説明会での意見の集約はされていません。さらに会では2月16日に出された市民の意見、なぜ接点点が長坂なのかについての議事録の提出を求めてきましたが、探しているという返事で、今日まで提出されませんでした。この議事録が提出されない背景には、封印されている、不都合な真実が隠されている疑いが有ります。

それにしても民間の会社組織で言えば、4ヵ月も一つの議事録を探しているということは考えられないことです。書類を探しているという言葉だけで4ヵ月間過ごせるサラリーマンは存在しません。この事は、国土交通省が民間感覚の無い、市民感情を無視した団体にほかならないことの一端を示していると言えます。国土交通省が住民説明会のまとめをしないのなら、沿線住民の会として独自に集計するのもやむなしと思ひ、ここに10会場の結果を発表します。

(ここまではホームページ掲載文)

この集計で注目していただきたいのは北杜市民の民意です。先日送りました県の高速度道路推進室のアンケートの結果も建設反対の意見が大多数です。この結果は民意が建設反対を示しています。

この北杜市では使わない土地を負の遺産と言うそうです。土地持ちの方がこの道路が出来て土地が売れば賛成派になるのは、人間の欲を考えれば自然な成り行きです。

団026-2

ここで私たちの疑問が再び湧くのです。なぜ長坂なのか？

前文で書いた長坂に告示された経緯の議事録、ここに封印された真実があるのではと疑ってしまいます。

ともかくこのルート案は、民意でないし、国、県、市が民意を無視して、このままの案で進もうとすれば、国民の民意をふみにじることになり、ワーキングの方もこの案を押し進めれば国民からそしりを受けると思ひます。

今回のルートA B案の問題点

- ・ 国交省のいい加減なアンケートで導き出されている。
- ・ 住民説明会での意見の集約からも民意が反映されていない。

- ・ 国のアンケートも県のアンケートも北杜市民の民意は建設反対だ。

- ・ バブル時代とは違い国にお金が無く、借金も1000兆円である。

以上の事からA B案ルートの白紙撤回を強く求めます。

平成25年6月25日

中部横断自動車道八ヶ岳南麓新ルート沿線住民の会

■「中部横断自動車道八ヶ岳南麓新ルート沿線住民の会」からの要望

(平成25年6月25日)

団026-3

平成25年1月30日（水）
国土交通省住民説明会 長坂会場 （参加者153名）

会場意見の集約	
意見の種類	具体的意見の要約
建設反対の意見 総数ー33件	・WGはなぜ直接話を聞かないのか、WGと一緒に対話すべきである。 ・2回のアンケートは歪曲されており、意見の集約が必要。 ・意見の地域別分布を明確に報告すべきである。 ・別荘の人に連絡が届いてない。 ・別荘の住民が居ない冬場の開催は無効だ。夏の開催を。 ・この説明会は成り立つのか。 ・別荘の人も税金を支払っている。この場に居ない事をどう思う。 ・アンケートは適切に配布されたのか。 ・計画段階評価はコミュニケーション活動で変わるのか。 ・説明会など周知にむらが存在するがその理由はあるのか。 ・計画段階評価なのに、A案B案しか提示しないのはおかしい。 ・なぜ長坂なのか。 ・長坂になった経緯を文書でほしい。 ・技術的な根拠の文章がほしい。 ・工事費を提示すべきである。 ・ルートを須玉～野辺山かんとしても勾配など道路基準上問題ない。 ・25年も建設の動きが無かった、必要性和効果はあるのか。 ・費用対効果は計算されているのか。 ・高速道路はいらない。既存のインフラを見直す時である。 ・1000兆円の借金を抱えバブル時代の計画をやることはない。 ・国土交通省の行ったアンケートが不適切である。 ・アンケートの結果、国道141の改良が民意だ。 ・交通量は算出したのか、新線は赤字が見込まれるのではないのか。 ・採算の取れる道路を造るべきである。 ・採算性を先に考え道路を建設すべきである。 ・WGは地域の状態を見るため、ここに来て地域を見ていただきたい。 ・環境の良いこの地域に、新たな道が必要かを考えていただきたい。 ・もっと早い段階で説明会を開いてほしかった。 ・WGと話をできる場所を作っておしい。 ・会場の人が反対か賛成か決をとりたい。 ・高速道路の必要性もWGで議論して決めることができるのか。

団026-4

	・WGの委員はどのように決まったのか。 ・WGは高速の必要性を議論していただけるのか。
建設賛成の意見 総数ー1件	・みんなの意見を聞きに来ているので賛否を問うのは反対だ。
中立の意見 総数ー1件	・議事の取り方について国側の回答も書いてほしい。

建設反対意見 33件

建設賛成意見 1件

中立意見 1件

■「中部横断自動車道八ヶ岳南麓新ルート沿線住民の会」からの要望

(平成25年6月25日)

国026-5

平成25年1月31日(木)
国土交通省住民説明会 大泉会場 (参加者165人)

会場意見の集約

意見の種類	具体的意見の要約
建設反対の意見 15件	・みんなが望んでいるのは141号の改良。 ・財政赤字で新規に作るのは無理。 ・景観が良い北杜市を高速道路で踏みじらないでほしい。 ・質問WGは何人で構成しているのか、山梨の人がいない。 ・WGに決定権はあるのか、決定権はどこにあるのか。 ・小委員会に通せば国幹会議までもどせるか。 ・小委員会が何の決定権もないなら説明会の意味がない。 ・提案ルートと国道の時間差は5分くらい。別ルートの検討を。 ・社会資本はメンテナンスの時代に入っている。 ・交通量の算出は隠しているように思える。 ・事業の進め方の最初に「道路交通調査」とあるが調べたのか。 ・負の遺産を、残そうとしている。 ・限りある予算は補修に回さなければ。 ・子供に負の遺産を残したくない。
建設賛成の意見 0件	なし
中立的な意見 1件	北杜市の中で賛成、反対と2分するのは嫌だ、みんなで良い知恵を。

建設反対意見 15件

建設賛成意見 なし

中立意見 1件

国026-6

平成25年2月1日(金)
国土交通省地元説明会 高根会場 (参加者272名)

会場意見の集約

意見の種類	具体的意見の要約
建設反対の意見 総数—26件	・既存の道路を保守・改修すべきである。 ・計画の発表前に部落の会議で決まっている。おかしい。 ・計画は新聞発表で知った。寝耳に水。住民無視もはなはだしい。 ・高速道路より141号の整備が先ではないか。 ・新ルート案は寝耳に水。アンケートに疑義がある。 ・アンケートの調査で何も定型化されていない。しかも歪曲されている。そのような資料を使ったのはどうか。 ・アンケートの結果がでっち上げされている。小委員会の委員もおかしいと言っている。 ・141号沿いの商店街が衰退する。交通量は予測しているのか。 ・転入者が転出者を上回っている。高速道路ができたなら人口が流出する。 ・山梨から長野に物流がどのくらい増えるのか。 ・救急搬送は山梨から長野に行った実例があるのか。 ・今後のメンテナンスの費用はどのくらいかかるか。 ・道路の維持管理費は建設費の3.3倍。後年度負担が膨大だ。 ・新聞でA案B案を知った。寝耳に水。141号のバイパスはできないか。 ・なぜ141号の拡幅・改良案がなくなったのか。白紙撤回を望む。 ・141号はまったく渋滞がない。高速道路のニーズがない。 ・須玉から清里まで高速ができてくても速回りで早くない。 ・2地域居住で税金も払っている。通知が来なかったのはどうしてか。 ・長坂。高根、大泉は通過する。北杜市民にメリットはない。 ・パンフレットにデメリットが書かれていないが、まったく無いのか。 ・141号で佐久に行ったが、まったく渋滞無い。交通量が少ないのに高速道路は要らない。 ・141号案が落ちることを想定してアンケートに載せるのはおかしい。 ・案内が来っていない。計画の周知がなされていない。 ・生き物のことを考えたら高速道路はいらない。高速ができたらもっと子供が少なくなる。 ・計画段階評価で、整備なしということも選択の一つでは。

■「中部横断自動車道八ヶ岳南麓新ルート沿線住民の会」からの要望

(平成25年6月25日)

団026-7

平成25年2月2日（土）

国土交通省住民説明会 小淵沢会場 （参加者91人）

会場意見の集約

意見の種類	具体的意見の要約
建設反対の意見 17件	・27年前と時代が違う。 ・高速道路よりインフラの整備を。 ・費用対効果を示せ（同様意見他2件） ・今後人口減少、車の所有減少となる。（同意見他1件） ・通過点となるストロー現象を懸念。 ・141号改修を。 ・高原野菜の物流は長野側の問題。 ・集落が分断される。 ・美しい景観や美田を失ってよいのか。 ・負の遺産を残さない。 ・中間とりまとめで141号が消えてた理由を聞きたい。 ・説明資料のルート図に別荘地区の表示がない。 ・JCT予定地は優良圃場、この地この勾配も危険 ・活断層の調査はしているのか。
建設賛成の意見 9件	・地域活性化になる。早期に建設を。 ・海が見たい・・・キャッチフレーズに共感している。 ・清里有料道路を活用し高規格の道路を。 ・市内を通る区間を長くして、ICを3〜4か所造ってほしい。 ・道路は優先的に整備されるべきである。 ・市議会も採択している、議会が説明を。 ・この道路は東名よりも有益だ。国家的見地で造るべきだ。 ・141号拡張には反対だ。 ・中央道も反対の人はいたが今では人が移住している。小淵沢につないでほしい。
中立的な意見 8件	・説明会の開催時期、開催方法について。 ・概算費用の見方。 ・この道路はNECOが造るのか、国が造るのか。 ・市民参加で道造りを。 ・地域振興には賛否を超えて話し合いを。 ・計画段階評価の考え方について。

団026-8

- ・示されたデータが少なすぎる。
- ・北杜市は市の考えの説明を。

建設反対意見 17件

建設賛成意見 9件

中立的意見 8件

■「中部横断自動車道八ヶ岳南麓新ルート沿線住民の会」からの要望

(平成25年6月25日)

団026-9

平成25年2月3日(日)

国土交通省住民説明会 長坂会場2回目 (参加者218人)

会場意見集約

意見の種類	具体的意見の要約
建設反対意見 25件	・ルートの変更はなぜ実施されたのか。 ・南麓を通さないと発言があったが新ルートも南麓である。 ・国交省は都合のいいデータしか公開しない。 ・北杜市の景観は世界に誇れるものを守るべきだ。(2件) ・社会情勢が大きく変わりお金が無いお金を他に回すべきだ。 ・なぜ長坂なのか須玉にJCTを造る方が良い。(3件) ・高速道路の経済性利便性に疑問。 ・高速道路を造ることは農業をつぶすことになる。 ・3人の委員でルートが決められるのは納得できない。 ・この地域に高速道路は適さない。 ・141号の改修で良い。 ・高速道路を造らなければ地域は分断されない。 ・この道は北杜市憲章違反だ。 ・地域に住んでない人が地域の課題を分かるはずがない。 ・国のアンケートはおかしい。(2件) ・民意が反映していない道の建設は反対だ。 ・新ルートについて住民に対してコンセンサスが取れていない。 ・民間会社では費用対効果を出さずして計画は作成されない。 ・事業費2000億円をどの様に捻出するのか問題だ。 ・赤字の道路はいらない。 ・地震に対する対策は考えられているか。
建設賛成意見 5件	・道路はつながってこそ機能する。 ・3月の市議会でも早期実施の請願が出ている。 ・中央道が出来た時恩恵を受けた。今回も恩恵がある。 ・交通網の充実が大切。 ・経済効果は重要だ。
中立的意見 2件	・地元の人の意見を取り入れるべきだ。 ・分かりやすいアンケートをしてほしい。

建設反対意見 25件

建設賛成意見 5件

中立的意見 2件

団026-10

平成25年2月5日(火)

国土交通省住民説明会 小淵沢会場2回目 (参加者87人)

会場意見集約

意見の種類	具体的意見の要約
建設反対意見 27件	・南牧村の説明会に参加できないのは不公平である。 ・経済の今の状況を考えてほしい。人口もこれから減少する。(2件) ・現道の維持に190兆円かかる、若い人に負債を負わせるのか。(2件) ・資料の観光地間の連携は何を意味するか不明。 ・救急医療も病院を造ればよいこと。 ・この道路の有効性は長野側優先で北杜市にはメリットがない。 ・地元の課題のとりえ方が違うのでは。 ・27年前と視野回経済情勢がことなり、今は右肩下がりである。 ・この道より3, 11の復興を優先すべきだ。 ・インフラの総点検に国費を使うべきだ。 ・費用対効果を出てこないのは、出すと問題があるからではないのか。 ・赤字の道路になる。 ・維持管理費に建設費の3, 3倍かかると言われている。 ・高速で便利になるとは思えない。 ・日本風景街道にも選ばれた地域、綺麗な景色を守るべきである。 ・国道を改良すれば風景街道も守られ、コストも安くて良い。 ・年金システムが危機なので道の整備費用を年金に回してほしい。 ・国道141の改修案をお願いします。(2件) ・国のアンケートで北杜市では141号改修が6割が指示した。 ・情報公開が不十分であり、納得できない。 ・中央道との接続点がおかしい。 ・費用対効果が評価項目に入っていないのはおかしい。 ・B/Cは後からと言うが計画段階評価の費用が無駄になるのでは。 ・この道路を造らないといけなと言う大義名分がない。
建設賛成意見 7件	・中部横断道沿線の自治体で反対はない早期建設を。 ・今回の区間も直轄が良い。 ・中央道エリア人の流れが滞っている、呼び戻すために早期整備すべき。 ・安全、安心の代替路としてICは2～3ほしい。 ・山梨県は地理上なるべく多くの道が必要だ。 ・反対をする人が高速道路を使うのはおかしい。 ・佐久総合病院が良いので高速で長野の病院に行きたい。

■「中部横断自動車道八ヶ岳南麓新ルート沿線住民の会」からの要望
(平成25年6月25日)

図026-11

中立的意見 1件	・生活導線と高速道路の融合が必要。 ・
-------------	------------------------

建設反対意見 27件

建設贊成意見 7 件

中立的意見 1 件

図 026-12

平成25年2月9日(火)

国土交通省住民説明会 清里会場 (参加者232人)

会場意見集約

意見の種類	具体的意見の要約
建設反対意見 2 1 件	・今は時代背景が変わった、国の借金問題がある。 ・3人だけのWGでは不足、現地の把握も不足している。 ・国のルートを押し付けるのは問題あり。 ・清里 IC は 1 4 1 号沿線の商店集落通りが問題。 ・住民の WG を作り道造りを考えた方が良い。 ・これまでの資料を開示し、多数の説明会を。(2件) ・若い人は車をもてない。道は必要か。 ・1 4 1 号改良でゆつくり旅ができる方が良い。 ・高速道路建設を決めたアンケートに問題がある。 ・アンケートでは 5 0 % の人が 1 4 1 号の改良を求めている。 ・湧水や地下水の層に建設工事の影響が心配。 ・新ルート案に反対、1 4 1 号の改良を求める。 ・説明会出で出されている資料が不十分である。(2件) ・ルート図の居住地や水田等が書かれていない影響のないよう検討してほしい。 ・比較表だけでなく詳細なデーターを開示すべき。 ・目の前に道路が出来たら土地の価格が下落する。 ・市が J C の情報を発信しないために不利益を被った。 ・これ以上の高速道路は不要である。 ・地元としては生活道路を造るのを優先してほしい。
建設賛成意見 1 1 件	・地域活性化の想いから中部横断自動車道を求めてきた。(3件) ・1 4 1 号の活用は無理だ、地域の活性化につながらない。 ・さくらんぼ直売、景観、観光が売りになる。 ・安全、安心にとっても役立つ。 ・環境、景観に配慮した道路建設が市議会で決定している。 ・中央道のう回路として重要だ。 ・中部横断道路は代替路としても必要。 ・反対している人も家を造ることで環境を壊している。 ・紅葉のように PA を造ってほしい。 ・
中立的意見	・小規模でよいのでたくさんの人に説明してほしい。(3件)

■「中部横断自動車道八ヶ岳南麓新ルート沿線住民の会」からの要望

(平成25年6月25日)

団026-13

7件	- WGに来ていただきたい。 - ルートは住民の様々な意見を反映して造られるべきである。 - 土地の買い取り価格はどのぐらいか。 - 地域の分断課題がある。
----	--

建設反対意見 21件

建設賛成意見 11件

中立的意見 7件

団026-14

平成25年2月10日(日)
国土交通省住民説明会 大泉会場2回目 (参加者266人)

会場意見集約

意見の種類	具体的意見の要約
建設反対の意見 32件	- なぜ、長坂なのか不明だ。 - 国道141沿いに建設出来るはず。勾配も問題ないと思う。 141号改良よりルートが長いのではないか。 - 東京からの物流を考えたらJCは須玉が良いと思う。 - 国が行ったアンケートはアンケートとして用をなしていない。 141号の改修でよいのでは。(4件) - ルート帯に入っている人の意見を優先的に計画に反映するべきだ。 - 賛成者は自分の家に通るよう賛成運動をしてください。 - 産業の側面では整備効果は無いと思う。 - 一般道の一部バイパス化を考えていただきたい。 - 活断層の問題を軽視してないか。 - 小委員会で決まれば道路の計画が無くなるのか。 - シックハウス症候群の患者として生死に関わる問題だ。 - 代替案を整理し検討するとしているがデーターは出ていない。 - 交通量の調査のデーターが古すぎて交通量の予測ができていない。 - 構想段階から住民参加でルートを検討すべきだ。 - アンケートの課題は北杜市の課題ではないと思う。長野側の課題だ。(2件) - この道は北杜市に恩恵をもたらす事はない。 - 高速道路を建設しないといけないほど交通量が無いと思う。 - 都合の良いデーターは出して悪いデーターは隠しているのでは。 - 費用対効果は後で調べて効果なしと分かれば事業は中止か。 - 自然、景観が美しいこの地に高速道路はいらない。 - 説明会はガス抜きである。(2件) - 国が141号や旧有料道路を危険と判断するなら改良するべきだ。 141号でも佐久には早く行けるので高速は必要ない。 - 道路を造れば清里が再び繁栄すると考えるのは幻想だ。 - 直轄道路とするのは赤字路線だと言う証明ではないか。 - 自然破壊がこの道の最大の課題だ。
建設賛成の意見 4件	- 反対意見が多いが建設賛成もいる。 - 救急医療や代替路確保に必要だ。 - 説明会が少なくても良いと思う。

■「中部横断自動車道八ヶ岳南麓新ルート沿線住民の会」からの要望

(平成25年6月25日)

団026-15

	・反対意見が存在するが早期建設してほしい。 ・
中立的意見 4件	・民意をどのように反映させるかが問題だ。 ・小委員会やWGを説明会に呼んでいただきたい。 ・今後も説明会を継続してほしい。 ・141号等の生活道路を整備してほしい。

建設反対意見

32件

建設賛成意見

4件

中立的意見

4件

団026-16

平成25年2月13日（水）
国土交通省住民説明会 須玉会場（参加者124）

会場意見の集約

意見の種類	具体的意見の要約
建設反対の意見 21件	・高速道路を造らなくとも、国道の走行性で課題の解決を図っては。 ・現道の維持にお金がかかるのに、新たに道路を造るのは問題だ。 ・自然や景観が壊されるのは問題である。 ・国道141号の整備で良い。高速はいらない。3 ・有料道路でなく公共交通網を整備してほしい。 ・市の市議会で軽井沢に対抗する発言が今度は連帯主旨が不明だ。 ・7月の意見交換会はフェアな人選とは言えない。 ・浅川、湧水が道の建設で途絶えたらどうするのか。 ・2000億もかけて必要としないものは造るべきではない。 ・小委員会が東京で決めたことを地方に押し付けている。 ・津金地区では高速は過疎促進事業になる。 ・委員会のメンバーを代えてほしい。 ・アンケートがでたらめだ、出た答えは使えないはずだ。 ・当初のルートより2～3kmずれた理由が不明だ。 ・日本風景街道の分断は許せない。 ・野辺山から以南は高速道路にしないことを検討下さい。3 ・東日本大震災やトンネル崩落事故後必要性の審議はされたか。
建設賛成の意見 0件	
中立的な意見 6件	・地元に着着した道路が必要だ。 ・ルートがどの位置を通るか地図が説明不足だ。3 ・地域では歴史と文化が大切だ。 ・道路に賛成だが造る時

建設反対意見

21件

建設賛成意見

なし

中立的意見

6件

■「中部横断自動車道八ヶ岳南麓新ルート沿線住民の会」からの要望

(平成25年6月25日)

団026-17

平成25年2月16日(土)
国土交通省住民説明会 須玉会場2回目 (参加者182人)
会場意見の集約

意見の種類	具体的意見の要約
建設反対意見 34件	・非人道的な2回目のアンケートだ。配布も誘導的で誠意がない。 ・住民をアンケート作りから参加させ民意を入れるべき。 ・専門家が関与していないのでアンケートになっていない。 ・国道141号改良案が消えた理由はどの様なことか。(5件) ・説明会で市の代表として前に座るのは北杜市長ではないのか。 ・3分では反対意見をまとめて質問できない。 ・古老から田んぼを守ってくれと遺言された。造るべきではない。 ・民意を確認しないから市が割れた。 ・4つの案が2つの案ABになった詳しい説明がない。 ・アンケートの地域の課題は長野側のもんだいだ。 ・R141号の改良を強く望んでいる。(2件) ・ルート帯に自分の家が有るので反対だ。 ・この高速道路では地域の活性化は無理である。 ・高速道路は災害に強いと言えない過去が物語っている。 ・日本海を見るだけなら長野道からが早いのでは。 ・これ以上道はいらない。 ・長坂になった経緯を記した議事録はみつかったか。(2件) ・反対者の数の把握はしているか。 ・この山岳高速道路は雪に弱いのではないか。 ・過疎の地方にあって人口の増加している町が有るが道で阻害される可能性も。 ・高速が出来ても観光者は増えない。 ・税金負担が増えている日本の国に余裕は無い。(2件) ・道路の保全の事を考えるべき時だ。 ・冬は長坂では通行止めになる。 ・石田委員長がこのアンケートをいい加減だと指摘している。 ・アンケートは民主制の表れであってほしい。 ・東北の震災時高速は封鎖されていた、141号が命の道となる。 ・
建設賛成意見 11件	・賛成だからアンケートを出す必要を感じなかった。 ・中央道ができて便利になった、横断道が出来ればまた便利になる。 ・道はつなげなければ意味がない。

団026-18

全会場集計表

会場地域	建設反対意見数	建設賛成意見数	中立的意見数
長坂会場	33	1	1
大泉会場	15	0	1
高根会場	26	6	4
小淵沢会場	17	9	8
長坂会場2	25	5	2
小淵沢会場2	27	7	1
清里会場	21	11	7
大泉会場2	32	4	4
須玉会場	21	0	6
須玉会場2	34	11	5
総計	251	54	39

建設反対意見総数 251件

建設賛成意見総数 54件

中立的意見総数 39件

■「中部横断自動車道八ヶ岳南麓新ルート沿線住民の会」からの文書

(平成25年7月4日)

団027-1

社会資本整備審議会 道路分科会 関東地方小委員会

委員 石渡 恒夫 様

冠省。私たちの会では、国交省による地元説明会ははじめ、申入れ書や要望書などで、この中部横断道（長坂～八千穂）計画段階評価に住民参画の道づくり方式を取り入れてほしいと何度も要望してきました。

しかし、その求めに応えることなく、このたびワーキンググループはルートをB案で決定とし小委員会に答申されました。

その会議で座長は、11回の説明会で「いろんな方とコミュニケーションをとっていた」とされ、実質的な検討はあらかじめ済んでいるにせよ、議論もなくB案優位の結論を出されました。そして、「住民参加の要望に配慮して」付帯意見を付けられています。

私たちは、構想段階の道路計画に対して住民参画を求めています。ルート決定後の街づくりに対する住民参画ではありません。問題を誤魔化し、すり替えしないで下さい。

本来、道路計画が国、県、市との双方向コミュニケーションあるいは市民相互の意見交換の場で議論され、合意形成が図られる必要があるのは、国交省の「ガイドライン」にあるとおりです。

しかし、繰り返しの要望にもかかわらず、そのような場も双方向コミュニケーションの機会の設定も無視されてきました。私たちは実質的に「代替案のない」ルート帯を示

団027-2

されていたので、公式の場で比較検討の機会はありませんでした。そこで「南麓横断ルート反対、141号線改修を」あらゆる機会を利用して訴えてきました。

委員の皆さんはB案ルートを何回視察されたでしょうか。南麓横断は言うまでもなく、深い溪谷をなす大門川を3回も橋梁で跨ぎ、清里の豊かな森を切り裂く姿を現場で想像して見ていただいたでしょうか。

2回のアンケートや説明会などの意見から、北杜市民の民意は141号線改修にあることは明かです。国道改修は喫緊の課題と聞いています。建設にあたってその経済性は私たちの最大の関心事でもあります。全線新設の負担はだれが負うのでしょうか。財政再建の失敗が許されないこの国の私達の税金です。

これまでの経過を振り返り、公正で合理的な判断のために市民の声に耳を傾けていただけないでしょうか。この段階で立ち止まることは厳しい御判断かと思いますが、しかし、いましかその時は無いと言えます。

どうか、委員皆さんの良識と熟慮の結果に、多くの市民とともに沿線住民の会一同は期待しております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

平成25年7月4日

中部横断自動車道八ヶ岳南麓新ルート沿線住民の会

■「中部横断自動車道八ヶ岳南麓新ルート沿線住民の会」からの文書
(平成25年7月4日)

第 454 号 【全国广告】

図027-3

中部横断道（長坂～八千穂）あなたはそれでも新ルート案を選択しますか？

国土交通省によると、1万4000ヶ所の計画道路は幹線道路に比べ約23年早い「広域ネットワーク」の早期実現を目指しています。そもそも、新幹線と普通鉄道（現行一八千両）の両方の路線網の拡大では、平成23年10月に「国鉄分割」のなかで「国庫整備」も進んでいます。そのなかで最も重要視されれば、「広域ネットワーク」を完成へと近づけたとみられ、平成25年の3月には国土交通省が都市計画道路は認めています（署名掲載済み）。下記のように計画を推進し具体的な施策を講ずることによって、世間とつながることで、全道開通と同時に各地を在野的にのみならず早急に開通できます。この建設費削減は税金でもなければいいです。郡、県、市のような電気料金比較、住民参加のもと熟慮して合意形成に努める責任があります。市民一人一人が自らの問題として考え、改めて協議したいですか？

	全線新設案 (A、B 案)	現道 (国道 141 号線) 活用案 → 地域高規格道路? (注 1)
ルート、規格、構造	高規格 1C 区からの交差 4 車線、高規格、橋梁。	現道より近くからの 2 車線 (渡辺交差点越し車線)、一部高規格、橋梁、一部バイパス
広域網ネットワーク	広域ネットワーク完成	広域ネットワーク完成
新線への影響	高規格により高規格を維持し景観維持が望ましい	少ない
環境への影響	全線新設により田舎、森林、動物帯への影響大	少ない
地下水への影響	農業用水、井戸水への影響必至	少ない
実行性、安全性の向上	全線新設は国道 2 車線のため距離、連続による冬季の閉鎖期間長期間、長距離の移動のため冬季のスリップ事故致傷致死 (交差 4 車線では計画されているが、国道 2 車線に発生しうる) と考えられる。	箇所は現道通年で封鎖、連続は高規格
道路にかかる車庫費	約 40 軒程度	(注 2)
設置費用	1,600 ~ 1,800 億円	(注 3)
整備費用	新設費用のほか 141 号線改良費用と二重投資となる	二重投資を避けコスト削減
維持事業コスト	既設費用のほか高規格、橋梁の維持管理費が現道活用案以上に上乗	工務、用務、管理費、維持管理費が早期供用により短期的コストの削減になる
用地買収、早期着工	全線新設のため用地買収に長期間必要かつ多量必要。仮設道土まで長年掛かるかその後のトラッキングが大きな課題	現道広幅道と若く工区間区域で工費がでる
地元経済への効果	大分ゼネコンなどの企業体中心	部分の発達などにより地元企業増殖可能
住民生活の利便性	1C は 3 市町と関係が浅い。1C へ行くまでが遠い。生活圏外とならないう。	野山 10 割や交通空白と生活圏外としても利用距離大野山山道で道路設計が難しい
整備段階の早期実現	10 年から 15 年	部分供用により早期実現
地域の特徴	高規格道路により地域中心にコミュニティ形成	影響少ない
災害時の代替確保	141 号の代替路	現道、県道、広域高規格により災害時の代替可能

442

○野田山は標高376m、高速道路は冬季の降雪、凍結で閉鎖時間が長くなりかつスリップ事故なども大事故にもつながりかねない。地域気候特殊道路は雪道利用などにより最小限にとどめ、こがでできる。(なお、国内で標高の最も高いところとされる高速道路は高山146mの4号の400m)

○全線別荘型は大門11は遠く大きな集客がこき呼ばれおとろけ、賢い・維持管理対応などには問題、一方設備利便の点ではグループ施設にも同様の問題。なおこの他に「保護者一部改修する」方法や「整備しただけ」と考えられましたが「改修が全線別荘型による」方法として考えられていた。またこの「保護者一部改修」は国交省の資料（国交省2012）によらず、グループ施設も含めながら、さまざまな事例の調査を行うことにより異なるべきものであることが、市民防衛施設維持検討が行われていることが分かった。

(注) 東横線特快道路(高速道路等)を省略し、地域の発展や地域間の連携のため、一般国道や主要地方道の中で、ネットワーク上規格の高い道路(50 車以上)として整備することが必要と思われる。

(注) ① 道路にかかる車流量は、国道全線4輪化で1日下り八千台(300～400台とされていますが(地元説明会資料参照)、長谷一野山間で2車線であるので計算は150～80台)と見算する。② 国道全線4輪化で1日下り八千台(300～400台とされていますが(地元説明会資料参照)、下り一野山間で2車線であるので大雑に減算出来る。

○現道活用案は、全線新設案に比べ、①環境、景観、地下水などに影響が少ない ②早期に着工、早期に供用が可能 ③生活道路としての活用が可能 ④地元経済の振興に貢献 ⑤コストが安い

なお、本来このようなルート比較を市民参画のもとで議論することにより、市民の一体感が生まれ、ひいては行政への信頼ともなっており、地域活性化にもなる、と主張したいと思います。



■「中部横断自動車道八ヶ岳南麓新ルート沿線住民の会」からの通知書

(平成25年8月6日)

団028-1

通知書

平成25年8月6日

山梨県甲府市緑が丘1丁目10番地1

国土交通省関東地方整備局

甲府河川国道事務所長 吉岡大蔵殿

中部横断自動車道八ヶ岳南麓

新ルート沿線住民の会会長

平成25年6月27日に行われた、国土交通省社会資本整備審議会道路分科会関東地方小委員会中部横断自動車道（長坂～八千穂）ワーキンググループ第3回検討会の最も重要な資料である住民意見データの集約に誤りがあり、意図的作為と隠ぺいが存在します。平成25年1月30日から2月16日に行われた同省地元説明会の資料（「国土交通省資料2-2」（平成25年6月27日））では「高速道路は必要である」という賛成意見は42回、「高速道路は不要である」という反

後団028-2

対意見は21回と集計され、建設賛成意見が多数となっています。しかし、国交省の集計は意見を細分化し、賛成多数となる作為的操作が施されています

疑念がある国交省ワーキンググループ第3回資料2-2を沿線住民の会で再集計すると、地元説明会における賛成意見は91回、反対意見は285回、中立的意見は31回となり、中部横断道建設反対が多数意見です。明らかに、住民説明会における民意はAルート案のいずれも否定しています。

これら審議資料の作為的操作、改ざんが、ワーキンググループ第3回検討会の結論に決定的な影響を与えたと考えられます。審議資料が意図的作為をもって隠ぺいされているので、それに基づいたワーキンググループ第3回検討会のルート案決定の審議は無効であります。民意を人為的に改ざんしたデータに基づくルート案決定は、民主主義の基本を侵すものであり、この決定を認めることはできません。

本書面をもって、この旨異議を申し述べるとともに、地元説明会における意見データの

■「中部横断自動車道八ヶ岳南麓新ルート沿線住民の会」からの通知書

(平成25年8月6日)

後団028-3

質的、数量的分析に関して、改めて中立的客観的な立場に立つ社会調査専門家による統計分析作業を行うことを強く求めます。その上で、それら資料に基づき、ワーキンググループの再審議を要求します。また、以上の疑義について、責任ある立場での文書による回答を求めます。

この郵便物は平成 25 年 8 月 6 日
第 16504 号査留内容証明郵便物として
差し出されたことを証明します。
日本郵便株式会社



25.8.6
12-18

12-18

■「中部横断自動車道八ヶ岳南麓新ルート沿線住民の会」からの通知書

(平成25年8月6日)

団029-1

通知書

平成25年8月6日

埼玉県さいたま市中央区新都心2-1

国土交通省関東地方整備局長 深澤淳志殿

中部横断自動車道八ヶ岳南麓

新ルート沿線住民の会会長

平成25年6月27日に行われた、国土交通省社会資本整備審議会道路分科会関東地方小委員会中部横断自動車道（長坂～八千穂）ワーキンググループ第3回検討会の最も重要な資料である住民意見データの集約に誤りがあり、意図的作為と隠ぺいが存在します。平成25年1月30日から2月16日に行われた同省地元説明会の資料（「国土交通省資料2-2」（平成25年6月27日））では「高速道路は必要である」という賛成意見は42回、「高速道路は不要である」という反対意見は21回と集計され、建設賛成意見が

団029-2

多数となっています。しかし、国交省の集計は意見を細分化し、賛成多数となる作為的操作が施されています

疑念がある国交省ワーキンググループ第3回資料2-2を沿線住民の会で再集計すると、地元説明会における賛成意見は91回、反対意見は285回、中立的意見は31回となり、中部横断道建設反対が多数意見です。明らかに、住民説明会における民意はA Bルート案のいずれも否定しています。

これら審議資料の作為的操作、改ざんが、ワーキンググループ第3回検討会の結論に決定的な影響を与えたと考えられます。審議資料が意図的作為をもって隠ぺいされているので、それに基づいたワーキンググループ第3回検討会のルート案決定の審議は無効であります。民意を人為的に改ざんしたデータに基づくルート案決定は、民主主義の基本を侵すものであり、この決定を認めることはできません。

本書面をもって、この旨異議を申し述べるとともに、地元説明会における意見データの質的、数量的分析に関して、改めて中立的客

■「中部横断自動車道八ヶ岳南麓新ルート沿線住民の会」からの通知書

(平成25年8月6日)

団029-3

観的な立場に立つ社会調査専門家による統計
分析作業を行うことを強く求めます。その上
で、それら資料に基づき、ワーキンググルー
プの再審議を要求します。また、以上の疑義
について、責任ある立場での文書による回答
を求めます。

この郵便物は平成 25 年 8 月 6 日
第 16605 号書留内容証明郵便物として
差し出されたことを証明します。
日本郵便株式会社



12-10

■「中部横断自動車道八ヶ岳南麓新ルート沿線住民の会」からの文書

(平成25年10月9日)

関東地方整備局との面談内容メモ

団030-1

2013.10.9

1 計画段階評価の進め方の問題点

- ① アンケートと中間とりまとめ
- ② P I とくに対話の不在
- ③ 地元説明会後の空白とWGによる結論およびWG提出の集計資料の問題
- ④ 災害時代替道路の検討経過の不在
- ⑤ 景観・環境と日本風景街道
- ⑥ 北杜市によるB案前提の「検討委員会」問題

2 要望事項

- ① 国道改修（例えば自動車専用道路（注））とB案ルートとの比較評価の実施
- ② 関東地方小委員会石田委員長あるいは委員長を含む委員との面談の機会を設けること
- ③ 紛争解決手法（メディエーション）の実施の検討

（注）「防災対策など国道が有する課題に緊急に対応する観点から、一般国道のバイパスを、高速自動車国道との二重投資を避けるために自動車専用道路として整備し、高速自動車国道の機能を当面代替することが可能」（平成7年11月30日道路審議会中間答申）

今後の高速自動車国道の建設予定地域の中には、高速自動車国道計画のほかにこれと並行して混雑解消や山間部の隘路解消のため一般国道の整備が急務となっている場合もある。このように並行して2つの道路計画がある場合、高速自動車国道と一般国道の両方を各々建設するのではなく、両者の性格をあわせもった1つの道路を建設することが投資効率等の面から有効であることも多い。

具体的には、一般国道の整備に際して高速走行可能な自動車専用道路として建設することにより、一般国道としての役割も果たしつつ高速自動車国道の機能を代替させ、高速ネットワークの一部として活用する方策が考えられる。（2009.1.29 第10回道路分科会）

中部横断自動車道八ヶ岳南麓新ルート沿線住民の会

署名簿
社会資本整備審議会道路分科会
関東小委員会委員長 石田 東生 殿
署名簿
中部横断自動車道八ヶ岳南麓
新ルート沿線住民の会
平成二十五年 五月 二十八日

田昭宏 殿
内正明 殿
倉政司 殿

団030-2

署名簿

自動車道新ルート案の撤回と国道141号線の改良を求めます

国交省より突如として、それまで検討されてきた八ヶ岳南麓ルートとする計画が公表されました。

この八ヶ岳の雄大な景観は日本の財産です。南麓を横断する高速道路は、この美しい自然と、いまや貴重な森林や里山林を破壊し、オオムラサキやヤマネなどの住処を奪うことになります。

また、代々の方が営々と築いてきた農地や住まいを壊し、おいしい水や澄んだ空気、美しい星空も損なわれます。

国道141号線は急カーブや狭小な幅員など改修の必要性を国交省も認識しています。新線建設ではなくこの国道の改良により対応すべきと考えます。

私は、上記内容に賛同し、下記の通り署名します。

氏 名	住 所

第一次集約日 平成25年1月25日

中部横断自動車道新ルート沿線住民の会